

寺尾上土棚線北伸ニュース

■記事：第8回まちづくり検討会の報告、まちづくり検討報告書（概要版）、まちづくり検討報告書の閲覧・意見募集について

まちづくり検討報告書を取りまとめました

日頃から、市政にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

平成24年10月14日、第8回寺尾地区まちづくり検討会が開催され、これまでの検討会の検討内容を「寺尾地区まちづくり検討報告書」として取りまとめました。

今回の北伸ニュースでは、第8回まちづくり検討会の内容と、寺尾地区まちづくり検討報告書の概要、今後の進め方についてお知らせします。

■第8回まちづくり検討会の概要

日 時：平成24年10月14日（日）13：30～15：00

会 場：寺尾いずみ会館2階展示室及び研修室

出 席：委員15名、傍聴者15名

○ 第7回検討会の内容確認

平成24年8月に開催した第7回まちづくり検討会の内容について確認し、第7回検討会後にいただいた意見に対する事務局の回答を説明しました。

○ 寺尾地区まちづくり検討報告書について

第7回検討会で提示した「まちづくり検討報告書（素案）」について、委員の意見等を基に事務局が修正した「検討報告書」の内容について説明し、意見交換を行いました。

※ 寺尾地区まちづくり検討報告書の概要については、3～7ページをご覧ください。

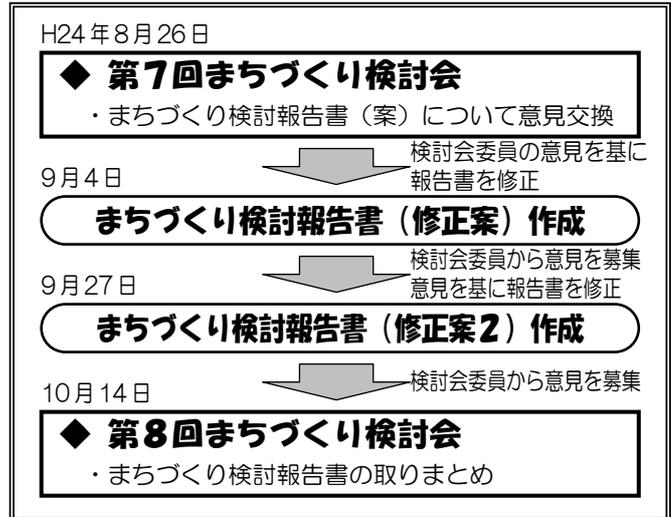
※ 第8回まちづくり検討会で使用した資料及び議事録については、市のホームページにも掲載しています。また、市役所インター推進室でもご覧いただけます。

●寺尾地区まちづくり検討報告書について

寺尾地区まちづくり検討報告書については、第7回検討会（平成24年8月開催）で、事務局が作成した素案について提示し、意見交換を行いました。

検討会委員より、報告書素案の修正に関する意見が多く出たことから、第7回検討会後に報告書の内容を事務局で再度精査しました。その内容について、検討会委員から意見募集を行いながら、寺尾地区まちづくり検討報告書を作成してきました。

■検討報告書作成の進め方



○第8回まちづくり検討会の中の主な意見交換内容

(1) 寺尾上土棚線の幅員について

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・寺尾上土棚線の幅員は何メートルを想定しているのか。 ・寺尾上土棚線をトンネル構造にするのであれば、幅員は22m以下に出来るのではないか。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・現在決定している寺尾上土棚線の幅員22mは、地表式で車道と歩道を含めた幅員です。寺尾上土棚線を地下式にすると、トンネル内に歩道を設けないことから、幅員が縮小することも考えられますが、構造物の厚み等も影響するので、実際の幅員は、詳細な設計を行わないと分かりません。

(2) 検討報告書の修正について

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺まちづくり計画図は現況図と重ね、まちづくりに影響する可能性がある範囲を分かるように修正する。 ・寺尾上土棚線整備による住宅移転だけでなく、まちづくりに伴う移転についても記載する。 ・表題を「寺尾地区周辺まちづくり計画」にすると、地域全体を見る方がいると思うので、「寺尾上土棚線（北伸区間）整備に伴う周辺まちづくり計画」等に、表題を修正する。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見の取り扱いについては、事務局で検討したいと考えており、事務局に一任させていただきたいと考えています。

(3) 今後の進め方について

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺まちづくり計画の検討を再開する時は、現在の検討会委員に声を掛けて欲しい。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺まちづくりの検討については、神奈川県の見ながら再開したいと考えていますが、再開する際は、現在の検討会委員の方にお声掛けしたいと考えています。

寺尾地区まちづくり検討報告書（概要版）

はじめに

本地区には都市計画道路寺尾上土棚線が都市計画決定されていますが、北伸区間の整備のために住宅移転が伴うことや、地区内の環境改変等の懸念から、道路整備事業に反対する意見が地区住民から寄せられています。一方、本地区は、交通安全や防災などについての課題も抱えています。

そのため、「寺尾地区まちづくり検討会」を立ち上げ、意見交換を重ね、検討結果を報告書として取りまとめました。

1. 都市計画道路寺尾上土棚線について

寺尾上土棚線は、湘南・県央・県北地域を南北に貫く広域幹線道路であり、県の「かながわのみちづくり計画（平成 22 年 3 月改訂）」において、平成 28 年までの事業化検討箇所として位置づけられています。

綾瀬市内のうち、寺尾台交差点以南の 4,430m が平成 20 年 3 月に、4 車線で開通しております。

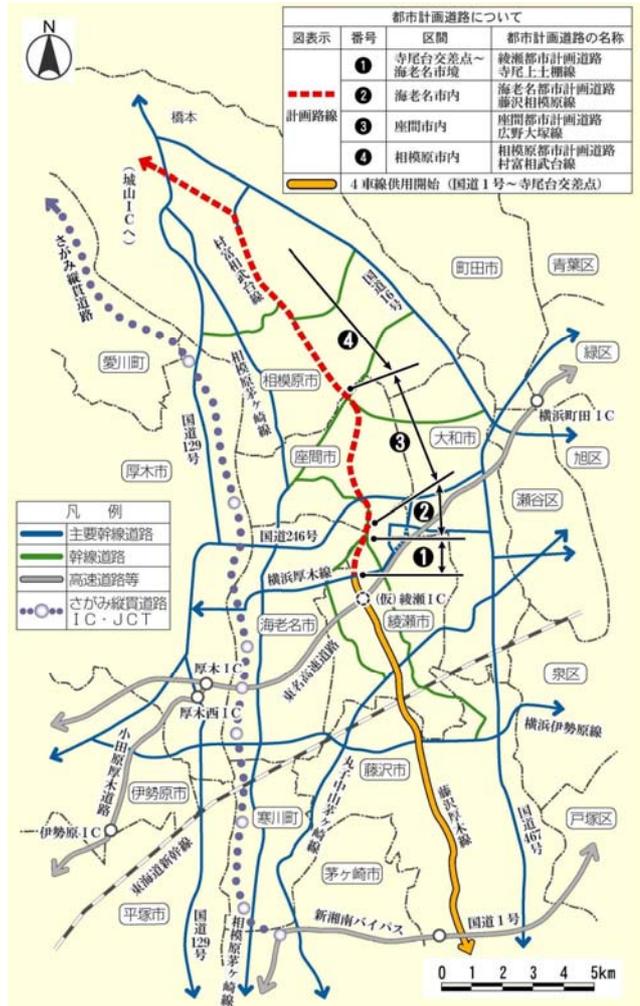
また、道路予定地には、都市計画決定後に都市計画法第 53 条の許可を受けて、多くの住宅等が建築されています。用地の一部については、権利者からの申し出により買収した箇所もありますが、現在は未整備となっています。

2. 寺尾地区まちづくり検討会の活動について

寺尾地区まちづくり検討会は、寺尾上土棚線（北伸区間）周辺地区の住環境・防災機能の向上や、安全で住みよいまちづくりの実現に向けて、まちづくり計画を検討することを目的として、平成 22 年 10 月に発足しました。

検討会委員は、寺尾上土棚線（北伸区間）に関連する寺尾北、寺尾天台、小園の各関係自治会から選出された委員や関係自治会から公募により選出された委員の合計 26 名で構成されています。

■広域位置図



■寺尾地区まちづくり検討会の活動状況

名称・日程	内容
検討会発足会 H22.10.16	・委嘱状の交付・市長と意見交換 ・まちづくり検討会の進め方について ・役員を選出方法について
第1回検討会 H22.10.31	・まちづくり検討会の進め方について ・寺尾上土棚線の概要について ・意向調査結果について
第2回検討会 H23.1.30	・要綱の改正・会長・副会長について ・寺尾上土棚線周辺まちづくりについて （現況平面図・縦断面の確認、将来交通量について）
まちづくり フォーラム H23.2.13	・財団法人神奈川県市街地整備支援センターによる講演 （まちづくりにおける道路計画、都市防災 地域環境・地域コミュニティ、事業手法について）
第3回検討会 H23.6.12	・委嘱状の交付・市長と意見交換 ・意向再調査結果について ・設置要綱の改正について ・寺尾上土棚線（北伸区間）縦断案1～3について
第4回検討会 H23.10.29	・寺尾上土棚線縦断案1～5について
第5回検討会 H24.1.15	・今後の検討会の進め方について
第6回検討会 H24.6.17	・今後の検討会の進め方について ・環境対策の事例紹介について ・寺尾上土棚線周辺まちづくり計画案について
第7回検討会 H24.8.26	・寺尾上土棚線周辺まちづくり計画（たたき台）について ・まちづくり検討報告書（案）について
第8回検討会 H24.10.14	・まちづくり検討報告書について

3. 寺尾北部地区の現状と課題

●寺尾北部地区の現状

- ・日照等の環境が概ね整った閑静な住宅地であり、通過交通が入りづらい。
- ・まとまった雑木林の残る寺尾の森は、地域の憩いの場となっている。

●寺尾北部地区の課題

○道路の利便性・安全性について

- ・主要交差点での交通渋滞が多い。
- ・地区内に東西方向の主要生活道路がない。
- ・地区内道路は幅員が狭く、車のすれ違いが困難。
- ・大型自動車通行規制道路（市道 208 号線等）にトラック等が入り込んでいる。
- ・歩行者が安心して歩ける歩道が不足している。

○災害・緊急時における消火・救護活動等について

- ・生活道路が狭く、緊急車両の通行や避難路としての利用が困難。
- ・木造家屋が密集しており、延焼の危険性がある。

■交通渋滞



■歩道がない道路



■道路が狭く車のすれ違いが困難



■歩道がない道路



4. 寺尾上土棚線（北伸区間）整備に伴うまちづくりについて

●寺尾上土棚線（北伸区間）整備によるまちづくりの期待

- ・寺尾台・大塚本町交差点等の交通渋滞の解消や、市道 208 号線の通過交通の減少、歩行者が安心して歩ける歩道整備など、道路の利便性・安全性の向上が期待される。
- ・寺尾上土棚線を避難路としての活用や、火災時の延焼防止を図るなど、災害、緊急時における消火・救護活動等の改善が期待される。

●広域幹線道路整備に伴う懸念事項

- ・道路からの騒音・振動・大気汚染等が増加し、周辺住宅の環境悪化が考えられる。
- ・寺尾の森等が道路計画線上にあるため、緑地空間の減少が考えられる。
- ・道路により地域分断し、地域コミュニティーやかしわ台駅へのアクセスに影響する。
- ・住宅地へ通過交通が進入し、環境悪化や交通事故の危険性の増大などが考えられる。
- ・計画線上の土地や建物のみ買収して整備すると、狭小宅地や不整形宅地が生じる。
- ・起伏が大きい地形であるため、道路と高低差が生じ、接道できない宅地が生じる。

5. 寺尾上土棚線（北伸区間）整備に伴う周辺まちづくり計画案について

まちづくり検討会の中で、寺尾上土棚線（北伸区間）の整備効果を発揮させるために、道路整備と一体的な、周辺まちづくり計画について意見交換を行いました。

寺尾北部地区は、比較的起伏が大きい地形であるため、縦断線形については複数の案が考えられます。そこで、路線計画の現況地形を見ながら複数の縦断案を作成し、各縦断案において考えられる周辺まちづくり計画について意見交換を行いました。

検討した「寺尾上土棚線（北伸区間）整備に伴う周辺まちづくり計画案」のうち、「天台小学校～大塚本町交差点間トンネル案」が、環境悪化や地域分断を可能な限り少なくするとともに、災害・緊急時の課題の改善、みどり環境を拡充することが期待できることから、当地区のまちづくりに最もふさわしい案であると考えられます。

●計画案の考え方

○寺尾上土棚線の縦断線形

- ・寺尾台交差点で県道 40 号（横浜厚木線）と平面交差し、天台小学校～大塚本町交差点間をトンネルで通すことで、寺尾地区の現在の閑静な住宅地としての環境や、地域コミュニティを維持・継承することとする。

○生活道路

- ・トンネル上部に、生活道路と緑地を整備する。
- ・市道 8 号線・9 号線などの既存道路は、現在の機能を存続することを基本とする。
- ・地区内の住宅地に通過交通の進入を防ぐために、寺尾上土棚線は既存の生活道路と接続させないこととする。

○土地利用

- ・寺尾台交差点付近は、商業・業務・集合住宅等の沿道施設用地とする。
- ・寺尾台住宅地及び寺尾北住宅地は、トンネル上部の生活道路と既存の生活道路に面した住宅を配置する。
- ・寺尾の森は、可能な限り既存の樹林を維持するとともに、新たに遊歩道を整備する。

○災害、緊急時における消火・救護活動等の改善

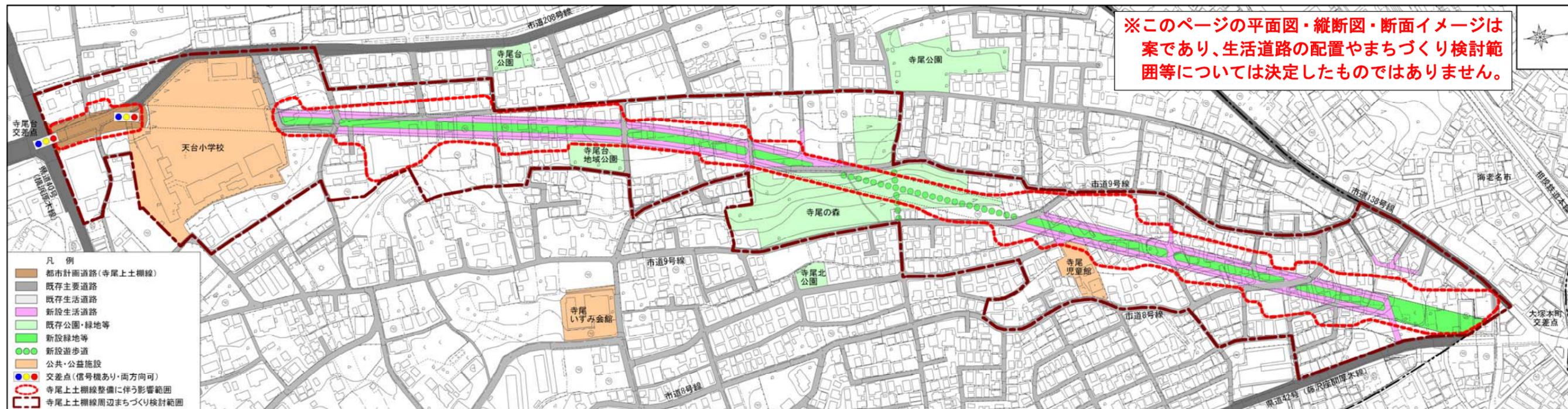
- ・寺尾上土棚線上の生活道路などを活用することにより、広域避難場所である天台小学校へのスムーズな避難が可能となる。
- ・トンネル上部を一時避難所として利用できるようにする。
- ・寺尾地区の中央に広幅員の公共空間ができるため、火災時の延焼防止を図ることができる。

●課題・考慮すべき事項等

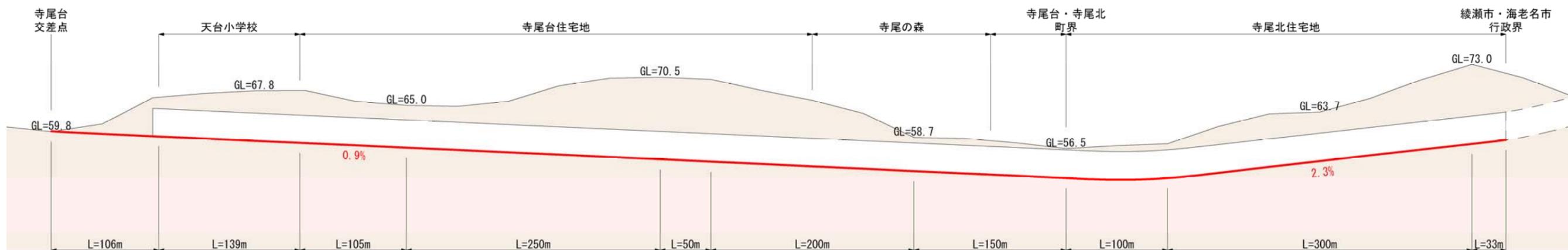
- ・寺尾上土棚線のトンネル区間が長いことから、換気施設の設置やトンネル上部を部分的に開ける等により、トンネル内の排気処理が必要である。
- ・寺尾上土棚線と既存の生活道路が接続しないことから、寺尾上土棚線を利用して地区内へ緊急車両等の進入ができないため、既存の生活道路の拡幅整備等の検討が必要になる。
- ・東西方向の主要生活道路がないため、地区内の移動性が不十分な状況であることから、既存の生活道路の拡幅や新たな生活道路の整備等の検討が必要になる。
- ・周辺まちづくり計画を実現するために、寺尾上土棚線整備による住宅移転の他に、生活道路や緑地、宅地等の整備による住宅移転が必要となる。

■寺尾上土棚線（北伸区間）整備に伴う周辺まちづくり計画（検討会案：天台小学校～大塚本町交差点間トンネル案）

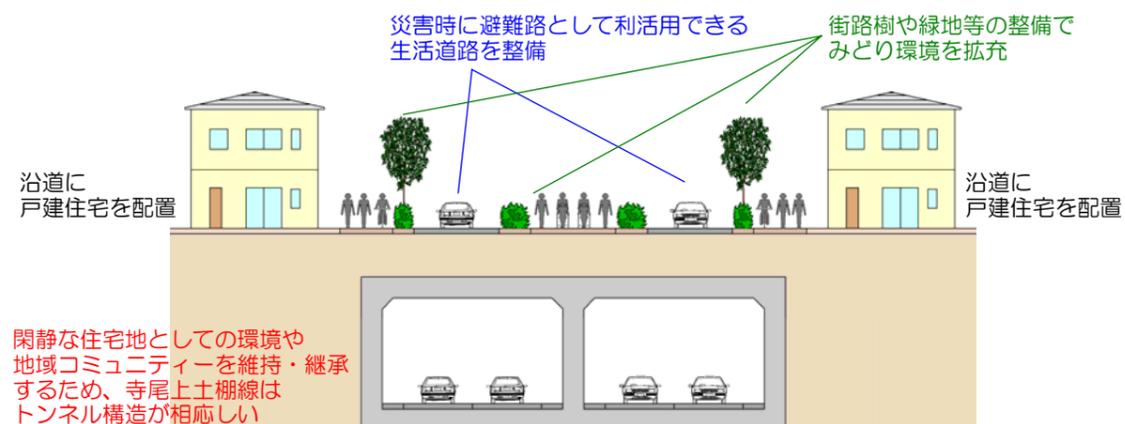
○平面図



○縦断図



○断面イメージ



おわりに

「寺尾地区まちづくり検討会」では寺尾上土棚線（北伸区間）の整備を中心に、その周辺のまちづくりについて意見交換を重ねてまいりました。寺尾上土棚線の構造が提示されていない中で、具体的なまちづくりについての議論が行えないため、委員の任期である平成 24 年 10 月時点での検討内容を報告書として取りまとめました。今後、県が寺尾上土棚線を検討する際には、この報告書の内容を熟慮のうえ進められるよう調整してまいります。

一方、当地区内には、東西方向の主要な生活道路がないことや、地区内道路の幅員が狭いこと、歩行者が安心して歩ける道路が不足していること等、道路の利便性・安全性や防災面等の様々な課題が抽出されております。このため、寺尾北部地区の全体的なまちづくりについて、別途検討してまいります。

●寺尾地区まちづくり検討報告書の閲覧・意見募集について

まちづくり検討会で取りまとめた「寺尾地区まちづくり検討報告書」の内容について地域住民の皆様から意見を募集します。

○ 検討報告書の閲覧

閲覧期間：平成 25 年 1 月 7 日（月）～2 月 5 日（火）

閲覧場所：市役所インター推進室、寺尾いずみ会館、寺尾児童館で閲覧できます。
また、市のホームページに報告書を掲載します。

○ 検討報告書に関する意見募集

提出期間：平成 25 年 1 月 7 日（月）～2 月 5 日（火）必着。

提出方法：所定の意見用紙に、住所、氏名と意見内容を記入し、提出してください。

提出先：市役所インター推進室（郵送、FAX、メールでも結構です。）

※意見用紙は、市役所インター推進室に用意します。また、市のホームページからダウンロードできるようにします。

※いただいたご意見の住所・氏名などの個人情報を公表することはありません。

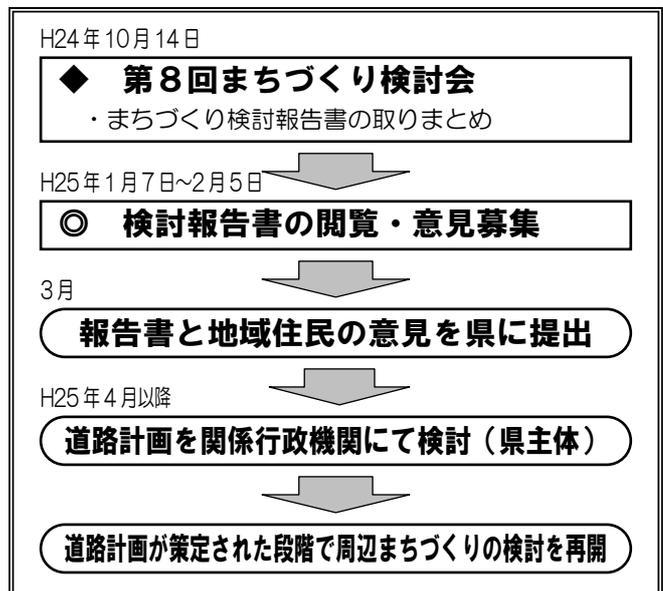
●今後の進め方について

平成 25 年度以降は、関係行政機関により寺尾上土棚線の整備計画について検討を行っていきます。

周辺まちづくりの検討については、道路計画が策定された段階で、再開したいと考えています。

検討状況等については、北伸ニュースにより情報発信を行っていきます。

■今後の進め方



●お問い合わせは

綾瀬市都市経済部インター推進室 担当：池之、栩秋

電話 0467-70-5681 FAX 0467-70-5703

メールアドレス su1630@city.ayase.kanagawa.jp

綾瀬市ホームページ <http://www.city.ayase.kanagawa.jp>